

7年産生育情報 新潟県

異常高温・高飽差緊急情報 (9/3 新潟県農林水産部)

9月2日に異常高温と著しい乾燥が発生し、こしいぶきの胴割粒発生の危険水準を超えたと発表。

注) 飽差は空気の乾燥程度を示す指標。数字が大きいくほど乾燥程度が大きい。

コシヒカリの収穫時期であり、品質・収量に影響が及ぶかが心配です。

出穂期(参考)

こしいぶきで7月23日(▲2日)、コシヒカリ8月3日(▲1日)、新之助8月10日(±0日)。



アメダス地点	村上	相川	下関	新潟	新津	三条	津川
日平均飽差 (g/m <sup>3</sup> )	4.4	6.2	5.3	8	6.8	6.7	4.2
判定		○		○	○	○	
アメダス地点	長岡	柏崎	大潟	高田	能生	津南	
日平均飽差 (g/m <sup>3</sup> )	7.6	5.5	6.5	9.6	7	6.6	
判定	○		○	●	○	○	

判定基準 ●：9.0以上 こしいぶき、コシヒカリ、新之助で胴割粒発生の危険大 ○：6.0以上9.0未満 新之助で胴割粒発生の危険大 なし：6.0未満 胴割粒発生の危険小、日平均飽差は、日平均気温・日平均湿度から計算した値です。

■飽差と胴割粒の関係

胴割粒は、出穂後の高温や収穫期頃の乾燥、刈遅れ等で発生します。収穫期近くの籾水分が22%未満に低下した時期に、飽差が高くなると胴割粒が急増、特に新之助で多発しやすいです。この時の飽差のめやすは、「こしいぶき」、「コシヒカリ」では9g/m<sup>3</sup>以上、「新之助」では6g/m<sup>3</sup>以上です。胴割粒の発生を抑えるため、出穂後積算気温800℃から飽差を確認し、籾水分が22%未満に低下した以降に飽差が高くなった場合は速やかに収穫。

■スーパー店頭価格は上昇基調(9/5農水小売データ)

平均価格の推移(週次)

大手スーパーは5kg平均3,808円、9月2日時点で4,000円突破

